

2020年度 日高地方陸上競技協会春季記録会(2021.3.20)

競技者注意事項

- ①本大会は、2020年日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本記録会申し合わせ事項によって実施する。シューズ、スパイクについては、規則143条を参照して下さい(選手へご指導よろしくお願ひします)。
- ②スパイクピンは全天候型9mm以下(高跳は12mm以下)を使用すること。先端が鋭利なものは使用不可
- ③ウォーミングアップは、競技場内の外周部、または、バックストレッチの8レーンより外側で行い、競技進行に支障がでないように注意する。競技のない時間帯等はバックストレッチを利用してもよいが、フィールド競技に支障のないように注意すること。投てき練習については、競技場内での投てき用具を使った練習を禁止する。集合完了後に競技場所にて係員の指示で行うこと。
- ④更衣室利用の着替えは、短時間で済ませ待機場所としての利用や、衣類等を置きっぱなしにしない。
- ⑤招集、スタート地点での待機について
 - 棄権する旨の連絡は、分かり次第各校顧問より管理棟2階記録室に速やかに連絡する。
 - 選手は競技服装(ユニフォーム等)で直接現地に集合する。
 - 100m、200m、400m、110mH、400mR・・・競技開始5分前
 - 800m、1500m、3000m・・・競技開始10分前(腰ゼッケンを必ず右腰につけること)
 - フィールド競技・・・競技開始20分前(フィールド種目は審判打ち合わせ時試技回数を決定する。)
 - 集合時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- ⑥特に投擲種目において競技終了後の手洗いを徹底する。また、試技の前後に手指の消毒を実施する。跳躍種目における着地マットや砂場、短距離種目のスタートブロックも同様である。
- ⑦滑り止め(炭酸マグネシウム)については、競技者ごとの持ち込みとする。
- ⑧競技終了後は、審判の指示により速やかに退場する。
- ⑨大切な連絡は放送をするので、しっかり聞き対応する。
- ⑩用器具の準備・片づけは、参加希望者のいる学校ですること。
- ⑪競技中の傷害・疾病・不慮の事故、携行品の紛失や損傷等については、主催者側は応急処置を除き、一切の責任を負いません。

参加者の一般的注意事項

- ①参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。(当日に書面で確認を行う)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ②選手、競技役員、補助員、チーム関係者(監督、顧問、コーチ)は、記録会1週間前より体調管理行い、JAAF 体調管理チェックシート(別紙)に記入し、記録会当日受付に提出すること(提出がない場合は、入場不可)。
- ③マスクを持参し、移動中や待機中、会話等の発声をする際にはマスク着用を原則とする。
 - ※マスクの着用については、状況によって判断する。マスクを着用して運動を行った場合、体温を下げにくくなり熱中症を引き起こす恐れもあるため、息苦しさを感じた場合はマスクを外して休憩をとるなど無理をしない。
- ④こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。(特に、用器具に触れる前後)
- ⑤ソーシャルディスタンスを確保する。(できるだけ2m以上)
- ⑥感染予防のため、密閉・密集空間、近距離での会話や大声での発声などを避ける。
- ⑦競技場において急な体調不良や発熱があればすぐに顧問、競技役員に連絡する。
- ⑧感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従う。
- ⑨記録会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

観客・保護者の皆様へ

- ①保護者はお子様から体温の報告を受け引率者に報告してください。(体調管理チェックシート)
- ②ご家庭での健康チェックをお願いします。体調不良、発熱等があれば大会へ参加させないでください。
- ③体調不良等の場合一時的に医務室で対応し、顧問が保護者連絡しますので迎えに来てください。
- ④選手・大会関係者以外の競技場フェンスより内側への入場禁止(応援はフェンス外側からお願いします。)
- ⑤ソーシャルディスタンスの確保(前後左右の間隔2m以上)にご協力下さい。発声応援は禁止です。
- ⑥記録・結果はアスリートランキングで確認ください。(<https://www.athleteranking.com/>)